

日本原子力学会炉物理部会第 33 回総会議事録

平成 22 年 4 月 7 日

日時：平成 22 年 3 月 27 日（土）12:00-13:00

場所：日本原子力学会 2010 春の年会 G 会場（茨城大学 共通教育棟 2 号館 26 講義室）

配布資料

- 33-1：炉物理部会規約の改定の提案
- 33-2：炉物理部会「次世代炉物理実験施設活用方策」検討会の継続について
- 33-3：平成 21 年度炉物理部会収支報告
- 33-4：平成 22 年度炉物理部会運営委員案
- 33-5：平成 22 年度炉物理部会収支予算案
- 33-6：学会新法人化の概要
- 33-7：炉物理部会主催 平成 22 年度炉物理夏期セミナーの開催予定（案）
- 33-8：第 5 回日韓サマースクールについて

議事

平成 21 年度下期活動報告と提案

1. 平成 21 年度（第 3 回）炉物理部会賞の報告
1 月に再募集したところ応募があり、選考委員会による審査の結果、以下の 2 件に受賞が決定したことが肥田部会長より報告された。引き続き表彰式が行なわれた。
 - 東京工業大学 竹澤宏樹氏
「低濃縮ウランを用いた原子炉励起レーザー発振実験用結合炉の核設計に関する研究」
 - 京都大学 佐野忠史氏
「核特性予測精度向上に関する研究」
2. 炉物理部会規約の改定 （配布資料 33-1）
原子力学会の新法人移行に伴う規程類体系化の一環として、企画委員会・部会等運営委員会規程類合同検討 WG で作成された雛型に沿った炉物理部会規約の改定が、肥田部会長より提案され、審議の結果、承認された。ただし、本改定により「運営委員会」が「運営小委員会」に変更されるが、関連する炉物理部会内規、炉物理部会運営委員会内規、部会表彰規定では、これらを改定するまでの間、「運営委員会」を「運営小委員会」と読み替えることを条件とする。
3. 「次世代炉物理実験施設活用方策」検討会の活動報告と提案 （配布資料 33-2）
これまで 2 年間活動してきた、原子力学会「アクチノイド・マネジメントに関する炉物理実験施設」研究専門委員会と炉物理部会「次世代炉物理実験施設活用方策」検討会は今年度末で終了するが、後者について、中速および熱中性子スペクトルを中心とした検討会の継続が岩崎主査より提案され、審議の結果、承認された。

4. 平成 21 年度予算実績報告 (配布資料 33-3)
最新の実績が卜運営委員から報告された。新たな事項として、学会の新法人化に伴い、繰越金の 10%を IT 化基金として学会に収めることになった。旅費など今後計上されてくるものがあるため、最終的な決算の承認は、秋の大会の総会で行われる。
5. 「炉物理の研究」第 62 号の発行状況
炉物理部会報「炉物理の研究」第 62 号がほぼ完成し、近々部会ホームページに掲載される予定であることが、渡邊運営委員より報告された。
6. その他、炉物理部会活動として、以下の 2 件が肥田部会長から報告された。
- 秋の大会企画セッション「新検査制度導入と炉心設計」が学会誌 5 月号に掲載予定。
 - 日本原子力学会平成 22 年度フェローに青木克忠氏（平成 11 年度炉物理部会長）が決定。

平成 22 年度活動計画

7. 平成 22 年度炉物理部会運営委員の選出 (配布資料 33-4)
平成 22 年度炉物理部会運営委員案が肥田部会長より紹介され、承認された。以降の議事は、東京都市大学教授の吉田新部会長により進行された。
8. 平成 22 年度予算案 (配布資料 33-5)
平成 22 年度の予算案が左藤運営委員より提示され、審議の結果、承認された。平成 22 年度は日韓合同セッション・日韓サマースクールが韓国で開催される予定であり、旅費および旅費補助として 60 万円が計上されている。なお、PHYSOR2014 の日本開催が確定した場合には別途予算措置が必要であり、PHYSOR の誘致にあたって開催の 2 年前にコンペが行われるため 2011 年から準備をスタートする必要がある。
9. 学会新法人化の概要 (配布資料 33-6)
法改正に伴い原子力学会は、2013 年に社団法人から一般社団法人に移行する予定である。移行に伴って、内部統制の強化、残余財産の公益目的使用、部会/支部の繰越金の学会管理への移管等が実施されることが、卜運営委員から紹介された。
10. 第 42 回炉物理夏期セミナーの企画 (配布資料 33-7)
炉物理夏期セミナーの企画案が佐治副部会長から紹介された。「高速炉の炉物理・軽水炉の炉物理」(案)をテーマに 8 月 4 日～6 日に岡山県吹上温泉で開催の予定。
11. 第 5 回日韓サマースクールの計画 (配布資料 33-8)
日本原子力学会 4 部会と韓国原子力学会による合同サマースクールが、2010 年 7 月最終週に韓国で開催される予定であることが、伊藤運営委員から紹介された。

以上